ペルソナ

キャリアウーマン、働く女性。

**おんな城主　直虎　あらすじ**

放送年　2017年

脚本　森下佳子

放送　全50話

**序文**

2017年に放送された大河ドラマ「おんな城主　直虎」は、柴崎コウ主演の作品です。男は外で戦う、女は家を守るという風潮のあった戦国時代において、女性が一国の城主を務めたという当時では珍しい武士の物語です。

**あらすじの評価・・・「時代劇のようなビジネス書」**

「おんな城主　直虎」は、戦国時代に女性でありながら城主となり「殿」と呼ばれた武士が奮闘します。財政のために知恵を絞り、家臣や領民を説得し、他国と交渉する姿は武士というよりも「ビジネスマン」に近いイメージがあります。

昨今、女性の社会進出はもはや当たり前、女性が起業することも珍しくありません。そんな時代を象徴するかのように放送された「おんな城主　直虎」。武力ではなく、資金を生み出す発想・部下掌握する術・外部との交渉力等を使って物事を処理する姿は、仕事に燃える女性には魅力的なことでしょう。

**あらすじ**

時は戦国、群雄割拠の時代に勢力を伸ばす大国と、規模の小さい国との格差は広がりを見せていました。小国は大国の支配下に置かれ、大国に挟まれた小国は常にどちらの味方となるべきか頭を悩ませる時代だったのです。

遠江国井伊谷（現在の静岡県浜松市付近）の井伊直盛も、そんな小国の領主でした。直親には男子の跡継ぎがおらず、子供は娘が一人。しかしこの一人娘である「とわ（後の井伊直虎）」はとても活発な子です。

とわには鶴松、亀之丞という幼馴染がいて、いつも三人一緒でした。

そんな折、直盛の従兄弟である井伊直親が今川義元に暗殺されます。直親の息子、亀之丞も処刑されることになりましたが、井伊家が一丸となって逃がし、とわもまたお寺に預けられ尼となります。

そして10年後、成長した亀之丞が帰国し、とわ・亀之丞・鶴松を中心とした国造りが始まるのでした。

**時代背景**

次に、大河ドラマ「おんな城主　直虎」を楽しむために知っておきたい時代背景を紹介します。

・時代・・・平安時代末期。1554年～1582年

・場所・・・主に今の静岡県、愛知県、岐阜県、山梨県。

井伊直虎の出生年月日は不明ですが、物語は1554年から始まります。没年は1582年、本能寺の変が起こった年でした。

作品を観る前の基礎知識はあまり必要ありません。実際の井伊直虎は資料が少ないため、見つけにくいと思われます。そのため、作品を観ながら気になる部分を検索する程度で問題ありません。

**主要キャスト評価・・・**

**主人公と仲間**

井伊直虎　柴崎コウ

遠江国井伊谷の城主、井伊直盛の一人娘。後に女性城主となり、井伊谷のために東奔西走します。演技に定評のある柴崎コウが美しくも飾らない女性城主を熱演します。

代表作

「Dr.コトー診療所」「[舞妓Haaaan!!!](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E8%88%9E%E5%A6%93Haaaan!!!)」「GOOD LUCK!!」

とわ(井伊直虎の幼少期)　新井美羽

幼少期の井伊直虎です。女の子ながら男子と変わらぬやんちゃぶりを見せますが、心優しい少女を演じます。新井美羽の屈託のない笑顔は、疲れた大人の癒しにもなることでしょう。

代表作

「わろてんか」

井伊直親　三浦春馬

とわの幼馴染で又従兄弟。幼少の頃に命を狙われ身を隠し、成長したのち井伊谷に戻る。武芸にも秀で、学もある好青年の姿は三浦春馬に良く似合います。

代表作

「14才の母」「クローズZEROⅡ」「サムライ・ハイスクール」

小野但馬守政次　高橋一生

とわの幼馴染で筆頭家老の息子。父親が反乱分子のため、子供の頃から苦労します。高橋一生が、落ち着いた好青年でありながら影のある役を演じます。

代表作

「軍師官兵衛」「わろてんか」「僕らは奇跡でできている」

**井伊家の人々**

井伊直盛　杉本哲太

井伊谷の領主で直虎の父。心優しい性格ですが、締めるところをしっかり締める頼れる領主です。荒くれ者の多い井伊家を苦労しながらも良くまとめます。

代表作

「飛ぶが如く」「幕末純情伝」「コード・ブルー～ドクターヘリ緊急救命～」

祐椿尼　財前直見

直盛の妻で直虎の母。一人娘のとわを厳しく育てながらもその実は家臣・領民を大切に思う慈悲深い女性です。

代表作

「お金がない！」「お水の花道」「義経」

井伊直政　菅田将暉（幼少期：寺田心 他）

井伊直親の息子。後に徳川四天王と呼ばれる猛将でもあり、外交に長けた交渉のエキスパートになります。菅田将暉が出てくるのは後半、幼少期は寺田心くんを含め3人の子役が演じるという豪華キャストです。

代表作

「仮面ライダーW」「まんぷく」「[3年A組-今から皆さんは、人質です-](https://ja.wikipedia.org/wiki/3%E5%B9%B4A%E7%B5%84-%E4%BB%8A%E3%81%8B%E3%82%89%E7%9A%86%E3%81%95%E3%82%93%E3%81%AF%E3%80%81%E4%BA%BA%E8%B3%AA%E3%81%A7%E3%81%99-)」

井伊直平　前田吟

直虎の曽祖父で、直盛の2代前の当主。血気盛んな老人で、事あるごとに戦をしたがる豪傑です。

代表作

「男はつらいよ」「渡る世間は鬼ばかり」「積木くずし」

井伊直満　宇梶剛士

直盛の従兄弟で直親の父。眼帯姿のワイルドな武将を宇梶剛士が演じていますので、しっくりくるキャラになっています。

代表作

「愛しあってるかい！」「未成年」「新選組！」

**井伊家の家臣**

奥山朝利　でんでん

井伊家の重臣。直平ほどでなないがこちらも血気盛んな老将。後に井伊家の内政を支える息子と、美しい２人の娘を持つ父親。落ち着いた役や面白い役の多かったでんでんが、武士の姿を見せてくれます！

代表作

「八代将軍吉宗」「ど根性ガエル」「蟹工船」

しの　貫地谷しほり

奥山朝利の娘。井伊直政の母親となる。井伊家の複雑な人間関係から情緒不安定ともとれる発言をしますが、後に井伊家を守る強い母に成長します。

代表作

「風林火山」「ちりとてちん」「龍馬伝」

なつ　山口紗弥加

奥山朝利の娘。小野但馬守正次の弟に嫁ぎ、数々のトラブルに巻き込まれながらも井伊家のために尽くす強い女性。息子は後に井伊直政を支える側近となります。

代表作

「14才の母」「下北サンデーズ」「ブラックスキャンダル」

奥山六左衛門　田中美央

奥山朝利の息子。血気盛んな父とは反対に武芸は苦手だが縁の下の力持ち。うだつが上がらない人物でしたが、後に以外な才能を発揮して井伊家を支えます。

代表作

「スカーレット」「[大河ドラマ](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%A4%A7%E6%B2%B3%E3%83%89%E3%83%A9%E3%83%9E) [いだてん〜東京オリムピック噺〜](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%81%84%E3%81%A0%E3%81%A6%E3%82%93%E3%80%9C%E6%9D%B1%E4%BA%AC%E3%82%AA%E3%83%AA%E3%83%A0%E3%83%94%E3%83%83%E3%82%AF%E5%99%BA%E3%80%9C)」「関ヶ原」

小野和泉守政直　吹越満

井伊家筆頭家老で、政次の父。井伊谷を支配する今川家になびく井伊家の反乱分子です。吹越満に良く似合う役です。

代表作

「有言実行三姉妹シュシュトリアン」「あまちゃん」「軍師官兵衛」

中野直由　筧利夫

井伊家の家臣で、戦の経験豊富な頼れる武将。熱く語ることもありますが、荒くれ者が多い井伊家家臣の暴走を止める冷静な面を持っています。

代表作

「踊る大捜査線」「Dr.コトー診療所」「とと姉ちゃん」

中野直之　矢本悠馬

直由の息子で井伊家の家臣。小柄ながら剣が強い頼れる男。直虎とは意見が合わずよくケンカもしますが、直虎をしっかり守ります。

代表作

「[クローズEXPLODE](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%AF%E3%83%AD%E3%83%BC%E3%82%BAZERO#クローズEXPLODE)」「花子とアン」「[今日から俺は!!](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%BB%8A%E6%97%A5%E3%81%8B%E3%82%89%E4%BF%BA%E3%81%AF!!#テレビドラマ)」

**龍潭寺（りょうたんじ）の僧**

南渓和尚　小林薫

龍潭寺の住職で、井伊直盛の弟。井伊谷の子供に学問を教え、外交官として他国に交渉に行くこともある。井伊谷の人々の良き相談相手。

代表作

「私立探偵 濱マイク」「Dr.コトー診療所」「[僕らは奇跡でできている](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%83%95%E3%82%89%E3%81%AF%E5%A5%87%E8%B7%A1%E3%81%A7%E3%81%A7%E3%81%8D%E3%81%A6%E3%81%84%E3%82%8B)」

傑山　市原隼人

龍潭寺の僧侶。僧でありながら武芸に秀で、直虎の護衛をしたり、作戦に参加したりする頼れる兄貴分です。

代表作

「WATER BOYS2」「ROOKIES」「猿ロック」

**その他の仲間**

あばら家の男→瀬戸方久　ムロツヨシ

元は村同士がケンカになった際に駆り出される人質役であったが、後に井伊家の財政を潤す程の才能を発揮する。ムロツヨシが演じる金の亡者は嫌みがなく、むしろ親近感すら覚えます。

代表作

「中年スーパーマン左江内氏」「勇者ヨシヒコ」「今日から俺は!!」

龍雲丸　柳楽優弥

盗賊の頭であったが、後に盗賊一派を率いてよろず相談をするようになり、街の商人を助ける。船も操り商売も上手で、築城の知識も持っているマルチプレーヤーです。

代表作

「誰も知らない」「[クローズEXPLODE](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%AF%E3%83%AD%E3%83%BC%E3%82%BAEXPLODE)」「銀魂」

**その他の登場人物**

今川義元　春風亭昇太

井伊谷に圧力をかけている駿河国の太守。色々な謀略を用いて井伊国を従わせます。「海道一の弓取り」として称されています。武士というよりお公家様といった風貌の今川義元を、静岡県出身の春風亭昇太師匠が演じます。

代表作

「免許がない!」「軍師官兵衛」「下町ロケット」

寿桂尼（じゅけいに）　浅丘ルリ子

今川義元の母であり、駿河の事実上の太守ともいえる発言権を持ちます。直虎と同じく、国を守る女性として知略を巡らせ、時には非情に、時には情に溢れる姿を見せます。

代表作

「赤いハンカチ」「栄光への5000キロ」「[忠臣蔵・いのちの刻](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%BF%A0%E8%87%A3%E8%94%B5%E3%83%BB%E3%81%84%E3%81%AE%E3%81%A1%E3%81%AE%E5%88%BB)」

今川氏真　尾上松也

今川義元の息子で、後に駿河の太守となります。政治力に乏しく、父亡き後は苦労を重ねますが意外に世渡り上手。蹴鞠（けまり）や和歌、楽器等が得意な文化人を演じるのは歌舞伎俳優の尾上松也です。

代表作

「嫌われ松子の一生」「天地人」「半沢直樹」

松平元康（徳川家康）　阿部サダヲ

徳川家康が最も苦労していた時代になります。トラブルの連続ですが機転を利かせて戦国の世を渡り歩きます。阿部サダヲが、通常のイメージとは一味違った家康を演じます。

代表作

「[舞妓Haaaan!!!](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E8%88%9E%E5%A6%93Haaaan!!!)」「マルモのおきて」「[いだてん〜東京オリムピック噺〜](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%81%84%E3%81%A0%E3%81%A6%E3%82%93%E3%80%9C%E6%9D%B1%E4%BA%AC%E3%82%AA%E3%83%AA%E3%83%A0%E3%83%94%E3%83%83%E3%82%AF%E5%99%BA%E3%80%9C)」

織田信長　市川海老蔵

物語の時代背景は織田信長が最も勢力を伸ばした時期でした。誰もが恐れる信長を、市川海老蔵が鋭い威圧感で演じています。

代表作

「[武蔵 MUSASHI](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%AD%A6%E8%94%B5_MUSASHI)」「[石川五右衛門](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%9F%B3%E5%B7%9D%E4%BA%94%E5%8F%B3%E8%A1%9B%E9%96%80_(%E3%83%86%E3%83%AC%E3%83%93%E3%83%89%E3%83%A9%E3%83%9E))」「[利休にたずねよ](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%88%A9%E4%BC%91%E3%81%AB%E3%81%9F%E3%81%9A%E3%81%AD%E3%82%88)」

明智光秀　光石研

織田信長の家臣で、言わずと知れた「本能寺の変」の当事者。世の中が変化するときに皆が翻弄されます。

代表作

「風林火山」「ゲゲゲの女房」「ど根性ガエル」

歌舞伎界、喜劇役者、アクション俳優と多彩で個性的な俳優が揃っております。柴崎コウは大河ドラマ初出演・初主演でした。

特に注目すべき俳優を挙げると

・矢本悠馬・・・クスっと笑わせ、アクションもこなし、三浦春馬や高橋一生らと遜色ない活躍をします。

・新井美羽・・・主人公の幼少期を演じ、演技でも笑顔でも癒してくれます。

・阿部サダヲ・・・今まで見たことのない家康を演じます。

・寺田心・・・井伊直政の幼少期を演じ、大きくなったら菅田将暉になります。

もちろん他にも大御所・実力派・歌舞伎役者等がそろっておりますので、色々な趣味の方が楽しめる作品といえるでしょう。

**「おんな城主　直虎」を観て得られること・・・働く女性の姿**

大河ドラマ「おんな城主　直虎」は、仕事熱心な女性の教科書のような作品です。城主という立場から、会社の社長や上役が持つ悩みも同じように表現されています。

・どうすれば仙台の借金を返せるか？

・どうすれば無駄な合戦を回避できるか？

・どうすれば人の心を動かせるか？

これらは現代の仕事にも通じることではないでしょうか。

また、合戦の勝敗よりも国内の組織を作る場面に重点を置いているのも特徴のひとつです。

・こんな指導者に出会いたい。

・こんなスキルのある人物が必要。

・仕事の相手とこんな関係を築きたい。

などと思わせますので、現代のドラマと同じ角度でご覧になっても面白いかも知れません。

**まとめ評価・・・キーワードは「竜宮小僧」**

「おんな城主　直虎」はとにかく女性城主が奮闘します。もちろん良い仲間にも恵まれますが、獅子身中の虫を抱えることもあり、裏切られることもあり、女同士の嫉妬ありと、波乱に満ちた内容になっています。数々の仕事をこなし、トラブルを処理する直虎を、忙しい合間に観るのも励みになるのではないでしょうか。

知略と人望で戦国乱世を駆け抜けた女性の姿を、是非お楽しみください。

最後に、キーワードは「竜宮小僧」です。